

年間指導計画例

学 習 指 導 要 領 (抜 粋)	芸術科の目標		芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。																科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。														
	内 容		(3) 創作																内容の取扱い	(6) 内容のBの指導に当たっては、楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。														
	A 表 現		ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもって音楽をつくること。																	(7) 内容のA及びBの教材については、地域や学校の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、Bの教材については、アジア地域の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。														
	表現に関して、次の事項を指導する。		イ 音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくること。																	(8) 音や音楽と生活や社会とのかかわりを考えさせ、音環境への関心を高めるよう配慮するものとする。また、音楽に関する知的財産権などについて配慮し、著作物等を尊重する態度の形成を図るようにする。														
	(1) 歌唱		ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌うこと。																	内容の取扱い	(1) 内容のA及びBの指導に当たっては、中学校音楽科との関連を十分に考慮し、それぞれ特定の活動のみに偏らないようにするとともに、A及びB相互の関連を図るものとする。													
イ 曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。		ウ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって変奏や編曲をすること。																(2) 生徒の特性等を考慮し、内容のAの(3)のア、イ又はウのうち一つ以上を選択して扱うことができる。																
ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。		エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して音楽をつくること。																(3) 内容のAの指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。																
エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して歌うこと。		B 鑑 賞																(4) 内容のAの指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。また、内容のBのエとの関連を図るよう配慮するものとする。																
ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって演奏すること。		鑑賞に関して、次の事項を指導する。																(5) 内容のAの(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。																
イ 楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。		ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取って鑑賞すること。																																
ウ 様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。		イ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して鑑賞すること。																																
エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して演奏すること。		ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞すること。																																
エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して演奏すること。		エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。																																
月	領域(分野)／ 配当時間	題材名	題材のねらい	学習指導要領 内容の指導事項																主な教材	題材の指導内容と学習活動													
				A表現						B鑑賞				音楽を形づくっている要素	内容の取扱い																			
歌	唱	器	楽	創	作	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ																					
4 5 6 7	表現(歌唱)／ 6時間	正しい発声法を身に付けよう	姿勢や呼吸法、発声法に気を付けて、楽曲の特徴を感じ取り、イメージをもって歌う	●	●	●	●												校歌／Ave Maria／翼をください／少年時代／夏の思い出／虫のこえ／小さな空／冬景色	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法など ・曲想と歌詞の内容とのかかわり ・声の音色や強弱、旋律の特徴などを生かした表現	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などに気を付けて歌う ・曲想と歌詞の内容がどのようににかかわっているかを感じ取る ・自分なりのイメージをもって、声の音色や強弱、旋律の特徴などを生かして歌う													
	表現(器楽)／ 2時間	ボディー・パーカッションに挑戦しよう	音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫してアンサンブルの喜びを味わう					●	●	●	●								Plymouth Rock ソルフェージュ	・ボディー・パーカッションの音色の工夫 ・アンサンブルにおける自分の役割にふさわしい表現方法	・ボディー・パーカッションの音色を工夫しながら演奏する ・共通のイメージをもって、アンサンブルにふさわしい表現を心がける													
	表現(器楽)／ 4時間	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	リコーダーの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する					●	●	●	●								見上げてごらん夜の星を／C-a-f-f-e-e／ボレロ／ザナルカンドにて／Now Is The Month Of Maying	・リコーダーの音色や奏法の特徴 ・音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素の知覚と、それらの働きの感受	・リコーダーの特徴を理解し、基礎的な奏法を身に付け、音色や奏法の特徴を生かして演奏する ・音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し、表現を工夫して演奏する													
	表現(歌唱)、 鑑賞／8時間	ミュージカル・ナンバーを歌おう	あらすじや物語の背景、歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、楽曲に合うように表現を工夫する	●	●	●	●							●	●	●			歌唱：レット・イト・ゴーへありのまま／Memory／Oh Happy Day 鑑賞：映画『アナと雪の女王』／ミュージカル《キャッツ》／映画『天使にラブ・ソングを2』	・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり ・楽曲に対するイメージをもつことと表現の工夫 ・ミュージカルや映画などの鑑賞を通した、音楽の多様性やそのよさの理解	・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのようににかかわっているかを感じ取る ・自分なりのイメージをもち、楽曲に合うように表現を工夫する ・音楽的な要素とそれ以外の要素がどのようににかわり合っているかを感じ取る													
	鑑賞／6時間	音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取ろう	声や様々な楽器によって生み出される響きを聴くとともに、文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し、意見交換などを通してより深く学ぶ												●	●	●			組曲《動物の謝肉祭》／バレエ音楽《ボレロ》／交響曲第9番《合唱付き》／ピアノによるさまざまな表現効果を聴き取ろう／〈くら〉(武満徹 編曲)／モーツァルトの生涯と作品をたどろう	・声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり ・音楽を形づくっている要素の知覚と、それらの働きの感受 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴	・楽曲の鑑賞を通して、声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取る ・音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解する ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する ・鑑賞した後に、感じ取ったことなどをまとめて発表し合い、理解を深める												
9 10 11 12	表現(歌唱)／ 4時間	表現を工夫して合唱をしよう	各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱の喜びを味わう	●	●	●	●												花／見上げてごらん夜の星を／故郷／荒野の果てに	・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・楽曲にふさわしい表現方法	・一人一人が主体的、積極的に歌い、各パートの役割やハーモニーを意識して合唱の喜びを味わう ・共通のイメージをもって、楽曲にふさわしい表現を心がける													
	表現(歌唱、器楽)／ 6時間	表現を工夫してギターを演奏しよう	ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏するとともに、歌いながら弾けるようにする	●	●	●	●	●	●	●	●								第三の男のテーマ／なごり雪／ディ・ドリーム・ビリーバー	・ギターの音色や奏法の特徴 ・音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素の知覚とそれらの働きの感受	・ギターの音色や奏法の特徴を生かして演奏する ・音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し、表現を工夫して演奏する													
	表現(歌唱)、 鑑賞／8時間	日本や外国の歌曲に親しみ、独唱に挑戦しよう	曲想を感じ取り、発声やフレーズなどを工夫しながら、独唱にふさわしい表現をする 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する	●	●	●	●							●	●	●			歌唱：ソルフェージュ／Caro mio ben／ハバネラ／闘牛士の歌／Heidenröslein (ヴェルナー、シュールベルト)／Ich liebe dich／むこうむこう／この道 鑑賞：オペラ《カルメン》／オペラ《フィガロの結婚》／舞台芸術(P.48)	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法など ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり ・歌と伴奏それぞれの役割 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴 ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり	・姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などに気を付けて歌う ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのようににかかわっているかを感じ取る ・歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して独唱する ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する ・演奏者による表現の違いなどについて、鑑賞後に批評文を書いたり感想を述べ合ったりする													
	表現(器楽、創作)、 鑑賞／6時間	和楽器に親しみ、音階を選んで旋律をつくらう	和楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏したり、日本の伝統音楽を鑑賞したりする つくりたい曲のイメージに合った音階を選んで旋律をつくる					●	●	●	●	●			●	●	●	●	器楽：太鼓／篠笛／三線／三味線／箏 から適宜選曲 創作：音階を選んで旋律をつくらう 鑑賞：箏曲《みだれ》／尺八曲《鹿の遠音》	・和楽器の音色や奏法の特徴 ・音階の特徴を生かした旋律の創作 ・日本の伝統音楽における楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり	・和楽器の音色や奏法の特徴を生かして演奏する ・音階による雰囲気の違いを感じ取り、つくりたい曲のイメージに合った旋律をつくる ・日本の伝統音楽における楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取り、鑑賞後に批評文を書いたり感想を述べ合ったりする													
	表現(歌唱)、 鑑賞／4時間	能や謡に親しもう	能の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、表現を工夫して謡う	●	●	●	●								●	●	●	●	歌唱：謡に親しもう 鑑賞：能《道成寺》／舞台芸術(P.48)	・謡の発声や歌唱法の特徴を生かした表現 ・能の表現の特徴や文化的・歴史的背景	・謡の発声や歌唱法について学習し、表現を工夫して謡う ・能の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、そのよさや美しさなどを味わって鑑賞する													
	表現(歌唱、創作)／ 2時間	発音や発声などを工夫して声によるアンサンブルをつくらう	オノマトペのもつリズム感やアクセントを生かしてアンサンブルをつくり、表現を工夫して演奏する				●	●	●				●	●					音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成	オノマトペでリズムをつくらう／オノマトペでアンサンブルをつくらう	・オノマトペのもつリズム感やアクセントの特徴を生かしたアンサンブルの創作 ・アンサンブルにおける自分の役割にふさわしい表現方法	・オノマトペのもつリズム感やアクセントの特徴を生かし、パートの組み合わせ方などを工夫してグループによるアンサンブルをつくる ・共通のイメージをもって、アンサンブルにふさわしい表現を心がける												
1 2 3	表現(歌唱)／ 4時間	表現を工夫して合唱やアンサンブルをしよう	各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱やアンサンブルの喜びを味わう	●	●	●	●												序曲／サザエさん／Oh Happy Day／願い／ぼくはぼく／夢みたものは……／Now Is The Month Of Maying	・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・楽曲にふさわしい表現方法	・一人一人が主体的、積極的に歌い、各パートの役割やハーモニーを意識して合唱やアンサンブルの喜びを味わう ・共通のイメージをもって、楽曲にふさわしい表現を心がける													
	表現(器楽)、 鑑賞／6時間	サンバやジャズに親しもう	サンバやジャズの特徴を感じ取り、楽曲を演奏する ジャズの文化的・歴史的背景や、演奏者による表現の特徴を理解する					●	●	●	●				●	●	●		器楽：Brazil／枯葉 鑑賞：枯葉	・サンバやジャズを形づくっている要素及び奏法の知覚と感受 ・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・ジャズの文化的・歴史的背景や、演奏者による表現の特徴	・リズムや強弱など、サンバやジャズを形づくっている要素及び奏法について理解する ・一人一人が主体的、積極的に演奏し、各パートの役割やハーモニーを意識してアンサンブルの喜びを味わう ・ジャズの文化的・歴史的背景や演奏者による表現の特徴を理解し、そのよさや美しさを味わって鑑賞する													
	表現(歌唱)、 鑑賞／4時間	世界の諸民族の音楽に親しもう	世界の諸民族の音楽における声や楽器の音色の特徴をとらえ、多様な表現による音楽美を感じ取って鑑賞する	●	●	●	●								●	●	●		音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成	歌唱：京畿道アリラン／ホルディリディア 鑑賞：世界の諸民族の音楽(P.62～65)に掲載されている音楽など	・楽曲の特徴を生かした歌唱表現 ・それぞれの国や地域の音楽の特徴、曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり、文化的・歴史的背景 ・それぞれの国や地域の音楽の多様な表現による音楽美の感受	・アリランとヨーデルの声の音色、リズム、旋律などの特徴を感じ取り、曲に合うように歌声を工夫する ・それぞれの国や地域の音楽の特徴、曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり、文化的・歴史的背景を理解して鑑賞する ・それぞれの国や地域の音楽の共通点や相違点に着目し、多様な表現による音楽美について感想を述べ合う												

検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特徴
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	●教材は生徒の心身の発達段階や生徒の実態に適応しているか。	●歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また、鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
内容	●「音楽を形づくっている要素」が学習を進めるうえで適切に扱われているか。	●表現及び鑑賞に共通する指導内容として「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を鑑賞する際に」が掲載されている。
	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	●幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。
	●基礎的・基本的な内容を学習するうえで適切であるか。	●教材の内容に関連して、基礎的・基本的な内容を学習できる参考資料が掲載されている。また、ページ間にリンクが張られており、確実に学習活動を進められるよう配慮されている。
	●説明文やイラスト、写真などは、学習を進めるうえで適切であるか。	●楽曲中の音楽用語の意味やリコーダーの派生音の運指が同一ページに表示されており、学習効率が上がるよう工夫されている。
	●生徒が興味・関心をもって、主体的・創造的な学習活動に取り組めるよう工夫されているか。	●説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。
構成	●我が国の音楽や音楽文化に対する配慮がなされているか。	●イラスト、写真の取り上げ方もアイディアにあふれ、音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。
		●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、各教材に学習内容や活動のポイントが明確に示されている。
		●創作の活動においては、生徒の能力に応じて創造的に進められるよう配慮されている。
		●鑑賞の活動においては、日本独自の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては、各学校の実態に応じて取り組めるよう5種類の和楽器が取り上げられている。また、音楽的側面からだけでなく、文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構成	●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性について配慮されているか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。
	●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮がなされているか。	●歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題して小学校、中学校から一貫して取り上げており、日本の歌に対する配慮がなされている。
		●各教材に示された学習内容や活動のポイント、歌唱・器楽の「ジャンル別MAP」などにより、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。
構成		●表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。
	●教材の配列は適切であるか。	●学習指導要領の内容に即した教材が配列されている。
		●表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、さらにページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり関連付けたりできるよう随所に工夫がなされている。
人権	●教材の分量は適切であるか。	●豊富な分量が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟な対応ができるよう配慮されている。
	●人権教育、国際理解、情報、環境などに配慮されているか。	●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることができるという点についても配慮がなされている。
体裁		●音楽に関する知的財産権について「ルールを守って音楽を楽しもう」が掲載されており、生徒にとって分かりやすく説明されている。
	●全体の体裁は教科書として適切であるか。	●A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。
	●印刷、製本などは適切であるか。	●表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。
		●全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されている。
		●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。
体裁		●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。
	●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。